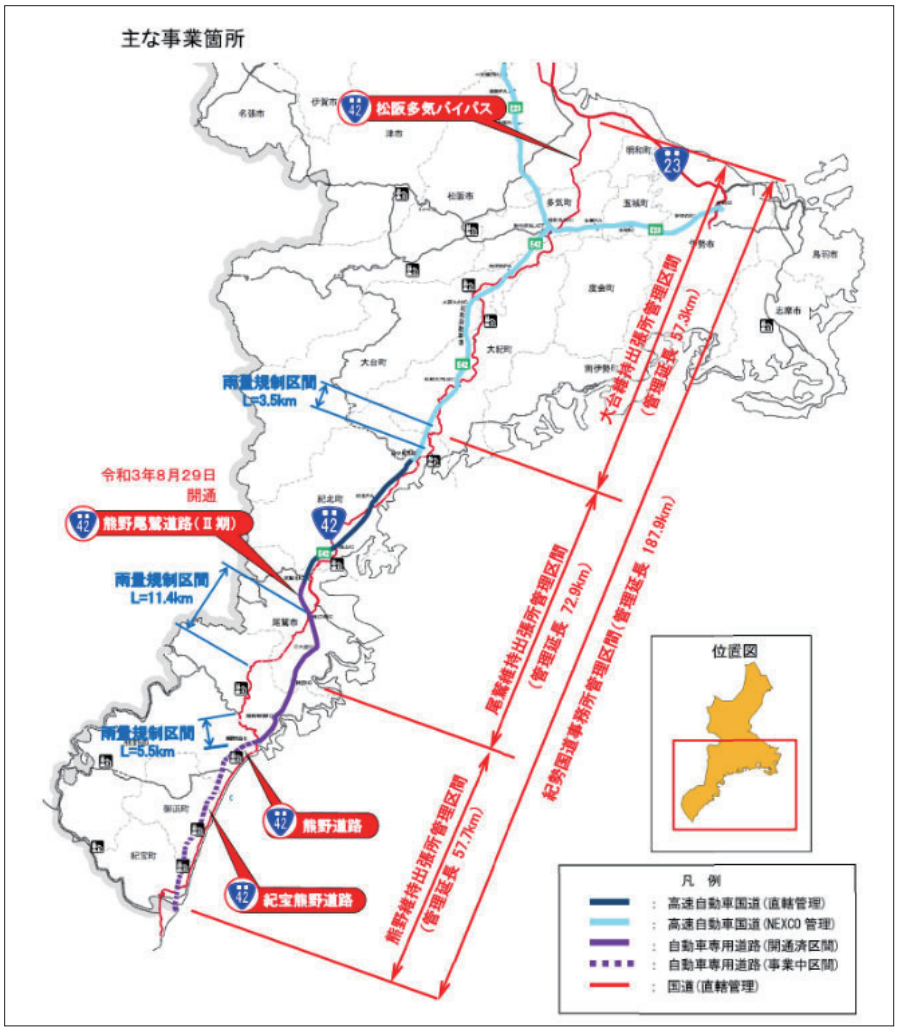
# 国道 42 号熊野道路の事業概要

国土交通省 中部地方整備局
紀勢国道事務所長 市川 幸治

紀勢国道事務所の主な事業箇所



国道 42 号熊野道路

## 1. はじめに

紀勢国道事務所では、国道 42 号熊野道路・紀宝熊野道路および国道 42 号松阪多気バイパスの改築事業ならびに、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路および国道 42 号（松阪市～紀宝町）の維持管理を行っています。

## 2. 熊野道路の事業概要

国道 42 号熊野道路は、近畿自動車道紀勢線の一部となって、高規格道路のミッシングリンク解消および直轄国道とのダブルネットワーク化による道路ネットワーク機能強化を目的に計画された熊野大泊 IC から熊野市久生屋町に至る延長 6.7km の一般国道の自動車専用道路であり、平成 26 年度に事業化され、現在事業を推進しています。

東紀州地域の国道 42 号は南海トラフ巨大地震による津波浸水想定区域を通過する箇所があり、地域が孤立する恐れがあります。

そのため、災害に強い道路を整備することで、東紀州（紀南）広域防災拠点から支援ルートが確保され、災害発生時の迅速な救助活動を支援することができます。

## 3. 工事の実施状況

令和 5 年度は、改良工、橋梁下部工、トンネル工を推進しています。

大泊地区では、これまでに熊野宮川橋（本線）（橋長 L=337m）、熊野宮川橋（ラ

熊野市　大泊地区（R5.11 撮影）

熊野市　井戸地区（R5.11 撮影）

ンプ）（橋長 L=188m）の下部工を施工してきており、下部工全８基のうち、7 基が完成しています。残る 1 基は、現在施工中で、完成すれば全ての下部工が完成します。

また、熊野第 1 トンネル工事を契約しており、今後、トンネル本体の掘削に着手する予定です。

井戸地区では、井戸高架橋（橋長 L=496m）の下部工の整備を推進しており、下部工全 12 基のうち、7 基が完成し、2 基を施工中です。

また、熊野第 2 トンネル工事を契約しており、今後、トンネル掘削に着手する予定です。

有馬地区では、熊野 IC（仮称）の大規模な盛土を計画しています。　本線及び E ランプに軟弱地盤が存在するため、令和 3 年度から地盤改良工、函渠工等を施工してきました。

今後は、熊野第 1 トンネル及び熊野第 2 トンネルの掘削が開始されるため、両トンネルのズリを搬入し、盛土工事に着手していく予定です。

熊野市　有馬地区
（本資料はイメージであり、変更になる場合があります。）

**4.DX の推進**

紀勢国道事務所は、i-Construction モデル事務所に指定され熊野道路をモデル事業として、ICT 施工や BIM/CIM 活用に取り組んできました。

さらに今年度から DX の所内水平展開を図る目的で、紀勢国道事務所 DX ワーキングを立ち上げました。ワーキングには所内の全課、全出張所から職員が参加し、各課で実施している DX 活用事例の共有を図っています。

**5. おわりに**

紀勢国道事務所では、今後も地域の皆様や道路利用者の皆様からのご期待に応えるべく、安全安心、快適な道路整備を目指し、所管事業の推進に取り組んでまいります。

また、DX の推進には職員自身が、仕事の進め方や働き方の変革の必要性を受け止め、DX 化の意識を持ち続けることが重要となることから、今後も DX ワーキングを継続して多種多様な DX 技術の活用に事務所全体でチャレンジし、生産性向上を目指します。